

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	TB	計
井 原	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5
矢 掛	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4

新チームの勝敗

1 4 勝 9 敗 3 分

打	守	選 手	出身中	学年	打数	得点	安打	打点	三振	四死	犠打	盗塁	失策	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	1 0 回	1 1 回	1 2 回	TB
一	③	佐藤武蔵	木之子中	2 年	4	1	0	0	0	2	0	0	0	遊ゴロ	遊飛			四球		三ゴロ		死球			遊飛	
二	⑦ 4	中 村	矢掛中	1 年	6	1	1	0	0	0	0	0	0	三ゴロ		中安		捕失策		遊ゴロ		一ゴロ			左飛	走 2
三	⑨	小 川	真備中	2 年	5	1	0	0	1	1	1	0	0	四球		見三振		捕犠打		捕飛			二飛		左飛	走 1
四	②	真 砂	木之子中	2 年	6	1	2	2	0	0	0	0	2	左安		中飛		中安			三ゴロ		右飛			左飛併
五	⑧	佐藤孝太	木之子中	2 年	6	0	3	0	0	0	0	0	0	三安			三ゴロ		三飛		遊ゴロ		左安			投安
六	⑥ 1	森 上	総社西中	2 年	6	0	3	2	1	0	0	0	0	中安			中飛		左安		空三振		左安			三ゴロ
七	④	田 付	真備東中	1 年	2	0	0	0	0	1	0	0	0	一飛			死球									
	R	山 部	小北中	1 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	4 6	大 山	小北中	1 年	2	0	0	0	1	0	1	0	0						捕犠打			空三振		捕邪飛		
八	①	花 岡	木之子中	2 年	3	0	1	0	1	1	0	0	0		空三振		一ゴロ		四球			左安				
	7	木 尾	美星中	2 年	1	0	0	0	0	0	0	0	0										三ゴロ			
九	⑤	上 山	木之子中	2 年	4	0	0	0	3	0	1	0	0		三飛			空三振	見三振			捕犠打		見三振		

	選 手	投球回	投球数	打者	被安打	奪三振	与四死	失点
	花 岡	9 . 0	1 4 7	4 3	4	3	1 2	4
●	森 上	4	3 8	1 2	0	2	0	1

秋季大会 2 年連続の決勝進出を賭けた一戦が始まった。矢掛高校の先発マウンドには昨日に続き、エースの花岡が上がる。花岡は四球を与えるが、犠打を真砂の好送球によって併殺とし、無失点で切り抜けると、その裏にチャンスを掴む。二死から小川が四球で出塁すると、四番の真砂が左前打を放ち、チャンスをつくる。ここで、佐藤孝太が内野安打を放ち、満塁とすると、打席に入った主将の森上が痛烈な中前打を放ち、2 点を先制し幸先の良いスタートとなった。しかし、2 回表、先頭打者に四球を与えると、犠打を挟んで連続死球を与え、満塁とされる。ここで、相手 8 番打者に中前打を運ばれ、1 点を返され、なおも満塁とされると、次打者の内野ゴロで本塁を封殺とするが、併殺を狙った 1 塁送球の間に本塁を奪われ、同点とされる。続くピンチは切り抜けるが、同点とされ、試合は振り出しへ。3 回には、四球で走者を許すと、二死から悪送球で逆転を許してしまう。矢掛高校も 3、4 回とも走者は出るが、得点を奪うことができず、試合は中盤へ。5 回表、四球で先頭打者を出塁させると、犠打などで二死三塁とされ、暴投で 1 点を追加される苦しい展開。しかし、矢掛高校にもチャンスがやってくる。5 回裏、一死から佐藤武蔵が四球で出塁。続く中村の打球が悪送球となり、1・2 塁とし、小川の犠打で 2・3 塁とすると、頼れる四番：真砂が同点となる 2 点中前打を放ち、試合は再び振り出しへ。激しく点を取り合った中盤までとはうってかわり、ここから両チームとも走者を得点圏に送るが、得点を与えず、試合は 9 回の攻防へ。9 回表をこの試合初めて 3 者凡退で切り抜けた矢掛高校は、9 回裏、一死からここまで 1 3 8 球を投じている花岡が左前打で出塁する。犠打と四球でサヨナラのチャンスを得るが、あと 1 本が出ず、試合は延長戦へ。矢掛高校は 1 0 回のマウンドに森上を送ると、一死三塁のピンチを切り抜け、攻撃に弾みをつける。1 0 回裏、二死から佐藤孝太、森上の連打でチャンスをつくるが、無得点。この後、1 2 回までどちらも譲らず同点のまま規定によりタイブレークに突入する。表の攻撃を内野ゴロによる 1 点に抑えた矢掛高校の攻撃は、この日、大当たりの真砂から。真砂は、追い込まれながらレフトに大飛球を放つが、後ろに守っていた左翼手に好捕され、2 塁走者が併殺となり、二死一塁と追い込まれる。しかし、佐藤孝太内野安打で繋ぎ、一・二塁とし、打席には先制タイムリーの森上が入る。森上は初球を勢いよく叩き、痛烈な打球を放つが、間一髪手を伸ばした三塁手のグラブに当たり、二塁走者がタッチアウトとなり、手に汗握る熱戦は 4－4（タイブレーク 1－0）でゲームセットとなった。今回の試合では、1 2 四死球と制球を乱した花岡を守備が助け、中軸を中心に良い当たりを見せていたが、ミスが直接点に絡み、悔しい敗戦となった。